

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：27013

学校名：発寒東小学校

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 長座体前屈、ソフトボール投げ、上体起こし握力 ○前回の記録より下回った種目 反復横跳び、シャトルラン、短距離走、立幅	・持久的な種目の記録が低くなっている。運動は好きで、楽しいと感じている割合が高いため、楽しみながら持久力を高めるような取組が求められる。
体力・運動能力 <女子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 上体起こし、長座体前屈、短距離走、立幅握力、反復横跳び、ソフトボール投げ ○前回の記録より下回った種目 シャトルラン	・多くの種目で良い記録となっている。体育の時間は、自分の成長を目標にすること・みんなが活躍できるようなルール作りを自分たちで考えながら進めていたことが、女子の記録を底上げしたと考える。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	「運動やスポーツをすることが好き」「体育の授業は楽しい」と回答する子どもの割合 R7男子91.2% 女子73.9% 体育の授業を除く1週間の総運動時間が60分未満の「ほとんど運動をしない子ども」の割合 R7男子6.2% 女子9.1%	・三つの取組の成果が表れ、運動習慣がついてきている。「全員が」運動への意識を高めていくことが今後の課題である。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
--------------	------------------------	------------------------------	----------------------------

具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○全学年で、体育時の準備運動に縄跳び運動を取り入れる ・敏捷性を高める跳び方や、持久力を高める跳び方を組み合わせる工夫。 ○意欲が高まる場の設定による運動量の確保 ・子ども自ら目標をもって取り組める工夫。 ○どの子どもも意欲的に取り組める教材化の工夫 ・ICT(1人1台端末等)の効果的な活用。 ・自分の伸びを確かめられる学習カードの導入。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童委員会による縄跳び週間の実施 ・「縄跳びカード」を活用して、普段あまり運動のしない子への意欲付けを行う。 ・委員会を通じて、体力向上の機会を測る。 ○夏・冬を通じて集団遊びや外遊びの推奨 ・休み時間などの活動場所の確保とルール策定。 ・屋内でも縄跳びができる場所の設定。 ・体育館にボルダリングウォールを設置し、荒天時でも体を動かせる場の創造 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康的な望ましい食習慣を身に付けさせるために 各学級で保健指導・食指導を行う。 ○「生活見直し週間」を年間5回設定することによる健康3原則の定着 ○出前授業の活用（明治の食育等） ○さっぽろっ子「学び」のススメ、発寒東「学び」のススメの配付・活用による、学校、家庭、地域が一体となった子どもの生活習慣づくりの推進
---------------	--	--	--

家庭・地域との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ○保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常の実技テストや観察等） ○学校評議員・学校関係者評価の活用 ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査や、体力テスト（3種目）による全学年の実態把握 ○学校独自の児童・生徒アンケートや保護者アンケート等の活用 ○生活見直し週間の取組についての子ども、保護者、教師における共有
---------------------	--